

部活動実施計画

1 目指す生徒の姿

目標に向かって仲間とともに励まし合い、根気強く活動する生徒

2 設置部活動等について

(1) 常設部…通年で活動

部名	主な活動場所
野球	グラウンド
女子バレーボール	体育館 ギャラー側
女子バドミントン	体育館 ステージ側
文芸	美術室

(2) 特設部…中体連の大会に出場するために特設し、そのための特別練習を行うこととする。

部名	主な活動場所
男女 陸上競技・駅伝	グラウンド

3 部活動入部手続き

(1) 入部について・・・希望制 *入部を推奨する方向で勧める。

(2) 2・3年生について

①前年度中に保護者へ校支援メールで『部活動継続』調査を送信し、回答してもらう。

R6年度3月11日(金)配信済み。提出締め切り3月26日(水)

②退部や転部を希望する場合は、後日顧問、学級担任と相談する。(転部届け提出)

(3) 1年生・転入生について

期日	内容	時間
4月11日(金)	生徒会対面式(部活動紹介)	★16:00～17:00(17:10下校)
4月11日(金)～17日(木)	仮入部期間 見学・体験可能	
4月18日(金)	入部届提出締切	朝学活
	部活動部会 (専門委員会後に行う)	部活動の時間で行う。 17:00(17:10下校)

※1年生に限り、1学期中は事情によって転部・退部を認める。

4 活動時間・日数等について

(1) 平日

①活動時間 1時間程度

②活動時刻 <4月～10月> 17:00終了 17:10下校完了

<11月～3月> 16:50終了 17:00下校完了

*学期末や年度末は、別に活動時刻を設定する。

③休養日 水曜日を休養日とする。

(2) 休日・祝日

①活動時間 3時間程度

*練習試合や大会等で活動時間が長くなる場合は、原則、翌日に休養日を設ける。

②土日どちらか1日は、休養日とする。また、土日のどちらも休養日を月2回以上設定する。

③年間、活動停止日を50日以上設定する。

(3) 長期休業 大会を除き、平日での活動を原則にしています。

(4) 1週間の運動部の活動時間

原則16時間を超えてはならない。大会等で超えてしまう場合は、翌週に十分な休養日を設ける。

(5) 部活時間の特例

- ①中体連主催の大会は大会1週間前から、協会・連盟などの大会で上位大会につながる大会（2つまで）については、5日前から30分程度の活動延長を認める。また、水曜日は通常同様に休養日とする。この場合、保護者に活動延長に関する文書を配布し、応諾書をとってから参加とする。延長活動を行う場合は必ず顧問がついて指導にあたる。（家庭の事情やバス時間等の関係で、参加に支障をきたす生徒には配慮をする。）
- ②定期テスト直後に上位大会につながる（シード権にかかわる）大会がある場合は、テスト前活動休止日でも、約30分～1時間程度の活動を可能とする。但し、生徒の学力を十分に考慮し、保護者の承諾を得てから、活動を行う。定期テスト前活動休止日が「学習時間の確保のため」であることを十分に考慮し、極力行わないようにする。
- ③原則として、定期テスト7日前からテスト終了日までは活動停止とする。
- ④長期休業中の活動については別に定める。
- ⑤朝練習の活動は、認めない。
- ⑥別紙「畑中部活動改革プラン」により、R7は実施する。R8以降については検討。

5 担当者の役割

(1) 部活動主任

- ①市教委畑野地区教育事務所（66-3889）と土・日の畑野中学校体育館及びグラウンドの使用について、調整を図る。
- ②運動部の体育館割当を調整し、事前に掲示等で生徒に知らせる。
- ③小学校体育館を使用する場合は、借用書を作成し、小学校の担当者と調整を図る。小学生の放課後の活動や社会体育の体育館使用時刻等に配慮する。
- ④各月の活動計画、引率計画等の作成を促す。
- ⑤2～3ヶ月毎の各部の活動状況報告を行う。（市教委へ）

(2) 各部顧問

- ①（1）①のため、土日の勝つ土う状況を記入する。（教務協のロッカー貼付）
- ②各月の活動計画を作成し、生徒・保護者へ知らせる。
- ③顧問の指導のもとで活動し、活動内容（練習メニュー）を計画的に実施させる。
- ④活動に参加できない生徒は、顧問（部長）への申し出を必ずさせる。
- ⑤活動場所の管理は、責任をもって行う。
- ⑥顧問不在の場合は、副顧問が指導・管理を行い、事故等のないように注意させる。副顧問も対応できない場合は活動しない。
- ⑦校外での活動を行う場合、校長の許可を得て、参加計画を配布する。（教頭先生後方に掲示）
- ⑧2～3ヶ月毎の部活動の活動状況（休養日把握）を入力する。
- ⑨事故防止の指導に努める。

6 指導上の配慮事項、確認事項

- (1) 事故やけがの発生時は、速やかに応急措置をし、必要に応じて病院への引率、校長、教頭、養護教諭、担任、家庭への連絡を適切に行う。
- (2) 部活動中の各自の持ち物は活動場所で管理し、活動終了後の教室への出入りはしない。但し、小学校で活動する場合は、玄関ホールに置く。
- (3) 外部指導者との連絡を密にし、指導の連携を図る。*①②とも、申請・報告が必要。
 - ①部活動指導員・・・単独の引率が可能。単独での指導とする。謝礼金あり。
 - ②外部指導者・・・従来どおりの技術指導者。単独での指導はできない。謝礼金あり。
 - ③文芸部は講師を招く場合は、佐渡市からの謝金あり。申請・報告が必要。（担当：教頭）

7 対外試合、練習試合等への参加について

- (1) 事前に校長の許可を得るとともに校長名と顧問名の連名で参加計画を作成し、関係職員・保護者に配布する。大会参加計画には以下の項目を記載する。

①大会名	②主催／共催	③期日	④会場	⑤参加者
⑥移動手段（輸送方法）	⑦日程	⑧引率者	⑨持ち物	

- (2) 佐渡地区予選を勝ち上がったの上位大会以外の島外遠征は、年間3回以内とする。

8 中体連以外の各種競技団体への登録について

各種競技団体（協会や連盟など）の登録は任意であり、その趣旨を顧問が十分に把握するとともに校長の許可を得て、さらに生徒及び保護者の理解を得てから登録作業に入る。

〈R6の登録料〉

部活動名	団体登録料	個人登録料	備 考
野 球	12,000円	なし	団体登録料 → P T Aより全額補助。 個人登録料 → 全額個人負担
女子バレーボール	10,000円	500円	
女子バドミントン	1,000円	500円	
陸 上	なし	1000円	

9 スクールバス等の利用について

部活動大会等で必要に応じてスクールバスを使用することができる。

○スクールバス等の申込み方法について

スクールバス等利用日の15営業日前までに教育委員会へメールで申し込む

<手順>

- (1) 畑野小学校スクールバスの運転手に事前に電話連絡する。
(日時、行先、人数など)
- (2) 運転手さんの都合が良ければ、「スクールバス等利用申込書」をメールする。
備考欄に「畑野小スクールバス運転手〇〇さんより承諾いただきました。」と入力。
- (3) 15営業日前までに送信する。
- (4) 運転手さんの都合が合わなかった場合、市教委に直接電話をかけて相談する。

10 大会参加にともなう各種費用について

(1) 中体連主催大会

① 参加料

- ア 佐渡市大会 個人負担（畑野中はPTAから補助あり）：350円
イ 下越地区大会以上 佐渡市から補助

② 交通費

下越地区大会以上 佐渡市から補助

(2) 中体連主催大会以外の大会（連盟及び協会主催等）

以下の大会において、参加料・交通費・宿泊費が補助対象となる。

(3) 受益者負担金

佐渡市補助対象の大会においても、以下の受益者負担（保護者の負担）が必要となる。

ア 島外の補助対象大会へ出場する場合の交通費	…3,000円/人
イ 宿泊費（宿泊での食費相当分の一部）	…1泊につき3,000円/人
ウ 弁当代 … 実費分	

対象大会

野球部：第四北越銀行旗争奪新潟県青少年野球大会下越地区予選会（4月）

バドミントン部：全日本中学生選手権大会県選考会（10月）

バレー部：下越地区・佐渡市新人中学生バレーボールフェスティバル（11月）

11 R7年度の申し合わせ事項

- (1) 持ち物の管理場所について
野球部…グラウンド（雨天の場合は玄関ホールの中庭出入口付近）
他の運動部…体育館 文芸部…美術室
* 荷物管理は場所や置き方（整頓）など、顧問が責任をもって指示する。
- (2) 活動の開始・終了時刻を守らせる。
活動終了時刻を5分早く終わりにする等工夫する。顧問は下校指導をする。
- (3) 平日に小学校体育館を使用する場合は、小体での解散も可能。ただし顧問は、活動終了時刻、下校時刻を徹底すること。小体の鍵、部活動の用具については顧問が学校へ持って帰ること。
- (4) 部活動時間に摂る水分は、中体連規則に則り、スポーツドリンクまたはお茶とし、水筒またはスクイズボトルに入れること。* ペットボトルはパッケージが見えないようにカバーをすること。
- (5) 部活指導員・外部指導者活用事業の実施
 - ① 県教委・市教委への申請・報告を確実に行う。
 - ② 外部指導者は、4/7（月）申請締切
* 部活動指導員の継続期間は5年間
* 部活動指導員は労働基準についても係わるため、勤務時間などの縛りがある。
- (6) 各部顧問は大会の結果をshare-R7-109表彰へ入力すること。